

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	情報提供の充実						掲載ページ
							91
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		8,438 <small>千円</small> <small>「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業はその一部。</small>	3,216 <small>千円</small> <small>「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業はその一部。</small>	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	安心して子どもを産み育てることができるように、ホームページ、情報誌の内容、情報提供方法の充実に努めます。子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できる仕組みを構築し、子育ての不安や悩みの軽減を図ります。					
<b>活動計画</b>	ホームページ「子育てマップ北九州」での情報提供を行い、平成25年9月には子育て情報誌「こそだて情報」を作成・発行します。			<b>活動実績</b>	情報誌「こそだて情報」を平成25年9月に51,600冊発行し、幼稚園、保育所等や母子健康手帳交付時に配付しました。また、ホームページ「子育てマップ北九州」で情報を提供しました。		
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>	
	子育てマップのアクセス件数						
	より多くの市民に、必要とされる子育てに関する情報が届いているかを図る活動指標として設定します。  <small>（最終目標と最終年度）</small>	650,038 件	650,038 件	636,770 件  98.0 %		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	「こそだて情報」の発行  <small>（最終目標と最終年度）</small>	発行	-	発行		大変順調 順調 やや遅れ 遅れ  <b>順調</b>	

【Check】評価（分析）		
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析  <b>「経済性」「効率性」</b> の分析	<p>活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> <p>平成25年9月に情報誌「こそだて情報」を51,600冊発行し、保育所、幼稚園、親子ふれあいルーム、子どもの館、子育てふれあい交流プラザ、医師会、コンビニエンスストア等を通じ、また、母子健康手帳交付時に配付しました。</p> <p>また、子育てに関するホームページ「子育てマップ北九州」では子どもの成長に応じた情報を提供するとともに、希望者に毎月「子育て情報メール」の無料配信を行いました。</p> <p>子育てマップのアクセス件数は微減しているものの、「子育ての悩みや不安の解消」に向けた情報を保護者にタイムリーに提供でき、高い効果がありました。</p> <p>情報誌「こそだて情報」作成・配布にあたっては競争入札を行い、ホームページ「子育てマップ北九州」では指定管理者制度を導入し、経済的・効率的な情報提供に努めています。市の子育てに関する施策や施設の情報の取りまとめ等については、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。</p>

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
26年度においても、子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌「こそだて情報」やホームページ「子育てマップ北九州」を活用した情報提供の継続実施に努めます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	保育所・幼稚園情報の積極的な提供						掲載ページ
							91
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		8,438 千円 <small>「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業は、その一部。</small>	3,216 千円 <small>「子育てに関する情報提供・PR事業」の総額。本事業は、その一部。</small>	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保育課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	市民に愛され親しまれる保育所・幼稚園となるため、また、市民が保育所・幼稚園を選択する際の一助となるよう、ホームページの充実や、ガイドブックの作成などにより、積極的に、保育所・幼稚園の情報提供に取り組めます。さらに、保育所・幼稚園に通う子どもや保護者向けの情報を保育所・幼稚園を通して提供したり、市ホームページ上で各保育所の入所状況を表示するなどして、タイムリーな情報提供を展開します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	在園児や保護者向けの情報を、保育所・幼稚園を通して提供します(H25.9「こそだて情報」を認可保育所・幼稚園在籍児童に配布)。また、市ホームページ等の充実を図ります。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	情報提供を行った保育所・幼稚園の箇所数	全施設に配布 (265施設)	全施設に配布 (265施設)	全施設に配布 (262施設)	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保育所・幼稚園を通じた情報提供を行うことが、タイムリーな情報提供につながるため、活動指標として掲げました。市内のすべての認可保育所(園)、幼稚園を通じた情報提供を行います。 (最終目標と最終年度)市内の全ての認可保育所(園)、幼稚園への情報提供(26年度)						
	ホームページの更新回数	12回	12回	12回	順調 やや遅れ	順調	
平成21年度より、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開しており、毎月(年12回)の入所状況の公開を継続することが、入所希望者等への積極的な情報提供につながるため、活動指標に掲げました。 (最終目標と最終年度)							
				100.0%	遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	ホームページ「子育てマップ北九州」による情報提供や保育所・幼稚園に通う全児童に「こそだて情報」を配布することにより、保護者に子どもの成長や年齢に応じた情報をタイムリーに提供することができています。 また、毎月(年12回)、市内各保育所の入所状況を市ホームページで公開し、入所希望者等への情報提供を積極的に行ったことから、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	情報誌「こそだて情報」作成・配布にあたっては競争入札を行い、ホームページ「子育てマップ北九州」では指定管理者制度を導入し、経済的・効率的な情報提供に努めています。市の子育てに関する施策や施設の情報の取りまとめ等については、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。 ホームページを活用した情報提供は、低いコストでより高い効果を期待できるものであり、これ以上のコスト削減は困難と考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
26年度においても、子育て中の保護者が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、「子育てマップ北九州」や、保育所・幼稚園を通じた情報提供の継続実施に努めます。 また、区役所窓口における保育所入所相談時に、ホームページによる情報提供の内容を周知するとともに、情報提供の継続実施に努めます。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	市政だより、市政テレビ、ホームページ等による子育てに関する情報提供						掲載ページ
							91
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	広報室
		— 千円	— 千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	広報課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか 市政だより、市政テレビ、ホームページなどを活用し、子育てに関する情報を提供します。			<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。			
<b>活動計画</b>	市政だより、市政テレビ、ホームページなどを活用し、子育てに関する情報を発信							
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）			前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
	市政だより「特集」掲載回数			1 回	1 回	3 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	全世帯（約35万世帯）に配布している市政だよりの「特集」で取り上げることは、広報の効果が高いと考えられるため活動指標として設定しました。 （最終目標と最終年度） —					300.0 %		
	市政テレビ放送回数			9 回	9 回	9 回	順調 やや遅れ	順調
	自主広報として市政テレビで放送することは、伝えたい情報を多くの市民にわかりやすく迅速に伝えることができ、広報の効果が高いと考えられるため活動指標として設定しました。 （最終目標と最終年度） —					100.0 %		

【Check】評価（分析）		
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		市政だよりでは、「特集」で「安全・安心なまちづくり」、「発達障害」、「ユーステーション」の記事を掲載したほか、各課の実施する子育てに関する事業の情報を年間を通して掲載しました。また、市政テレビでは「子どもの館」、「親子通園事業」など子育てに関する番組の放送（9回）を、ホームページでは、子育てに関する情報を年間を通じた掲載を行いました。あわせて、トップページのトピックス・お知らせ、メールマガジンに「子どもまつり」「こども文化パスポート事業」など子育てに関する情報を適宜掲載しました。以上のことから、順調と判断しました。
		広報室では、市政情報について、市政だより、市政テレビ・ラジオ、ホームページ等による総合広報を実施しており、子育てに関する情報提供にこれらを活用することは、経済的にも効果的です。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
平成26年度以降も、市政だより、市政テレビ、ホームページなどを活用し、子育てに関する情報発信を継続して実施します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	教育委員会の広報・広聴機能の充実							掲載ページ	
								91	
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	教育委員会
		2,226	千円	1,908	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	企画課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	新聞やテレビ・ラジオ、ホームページなどを活用し、学校や地域、行政などが行う教育活動を市民に情報発信するとともに、広く市民からの意見を聴取し、開かれた教育委員会を目指します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	学校に対し、マスコミへの情報提供の重要性や方法を周知し、積極的な情報提供を推進します。また、市内の小・中学校等の保護者等に教育委員会や学校の取組みを積極的に情報発信するために教育委員会広報紙「未来をひらく」を発行します。さらに、出前講演の活用等により、市民の皆様に、教育に対する啓発、参加・実践を呼びかけることとしています。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		→ 【活動の状況】
	パブリシティ活動件数		155 件	150 件	157 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	市民に対する積極的な情報発信のためには、注目度の高いマスコミでの報道は重要です。そのため、記者クラブへの情報提供数を指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）				104.7 %		
	教育委員会広報紙「未来をひらく」発行回数		3 回	3 回	3 回	順調 やや遅れ	順調
教育委員会の進める施策や学校等の活動状況を、全ての保護者、教職員、教育関係団体などに周知することは重要です。このため、発行回数を指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）		100.0 %					

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	パブリシティ活動として、教育委員会や学校の取組を、記者クラブへの資料配布等により報道機関へ積極的に情報提供をしました。平成25年度に情報提供を行った157件のうち、新聞への掲載件数は63件、「市長への手紙」「市民のこえ」等の広聴活動件数は118件でした。また、教育委員会広報紙や市政だよりを活用して教育委員会や学校の取組を広く市民に広報・啓発するとともに、「正しいしつけは子どもへの大切な贈り物」等について出前講演を実施しました。 以上のことから、「順調」と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	パブリシティ活動による新聞、テレビでの紹介は非常に注目度が高く効果的であり、また経費もかからず経済的です。出前講演の実施や市政だよりの掲載については、既存の資料や媒体を活用することにより、できるだけコストを抑え周知・啓発の効果をえられるよう努めています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
今後も教育委員会や学校の取組みをさまざまな手法により積極的に広報することにより、市民に必要とされる情報の提供に努めます。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	学校開放週間						掲載ページ		
							91		
<b>コスト</b>	事業費	平成24年度執行額		平成25年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	教育委員会
		0	千円	0	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	指導企画課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	より多くの保護者、地域の方の参加を促すことで学校教育に対する理解を深めるとともに、学校の情報を市民と共有することを目的とします。					
<b>活動計画</b>	本事業は、保護者や地域の方の学校教育の理解を深めるとともに、学校情報を市民と共有するために、重要な事業であると考えています。ホームページなどによる広報を実施するなど一層の推進を図っていきます。						
<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。						
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>	
<b>活動指標</b>	<b>スクールヘルパー延べ活動人数</b> 学校教育に対する理解を深めるとともに、学校の情報を市民と共有することを目的に、さらに多くの保護者や地域の方に来校してもらうよう一層の推進を図ります。このため、実施校数を指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）	212 校	212 校	212 校 100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	<b>学校開放週間の普及・啓発の推進</b> 学校教育に対する理解を深めるとともに、学校の情報を市民と共有することを目的に、さらに多くの保護者や地域の方に来校してもらう、HPや市政だより等を活用して普及・啓発を推進するため、指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）	1 回	1 回	1 回 100.0 %		順調	

【Check】評価（分析）		
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  平成25年度は、当初計画どおり全ての学校で学校開放週間を実施しました。来校者数については前年度を下回ったものの、日常の教育活動に対する理解を深めてもらうよい機会となっており、校長へのアンケート調査によると、平成15年度から実施している「学校開放週間」の目的や意義が年々保護者や地域に定着してきており、日常の教育活動を見ることが出来ることに対して、保護者や地域の評価が高いことがわかっています。以上のことから、「順調」と判断しました。
	<b>【経済性】</b> <b>【効率性】</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  学校・園における通常の教育現場を保護者や市民が自由に見学できる日を全校一斉に実施することで全市的なPRにつなげており、コストをかけずに学校教育の情報発信、学校・地域・家庭との連携に高い効果を得ていると考えます。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
本事業は、保護者や地域の方々の学校教育の理解を深めるとともに、学校情報を市民と共有するために、重要な事業であると考えています。今後も、ホームページなどによる広報を実施するなど一層の推進を図っていきます。